

市政懇談会開催経過①

皆さんから多くの意見をいただいています

市では、多くの市民の皆さんから市政に対するご意見・ご要望をいただくため、7月から11月にかけて毎月1回(全5回)、市内の各種団体の皆さんを対象にした市政懇談会(主要施策懇談会)を開催しています。以下、すでに開催した「産業部門」の内容の一部をご紹介します。詳しくは、笠間市ホームページをご覧ください。

産業部門 (7月27日開催)

● 観光果樹園の環境整備について

Q 観光果樹園としての環境整備を

実施してほしい。

A グリーンツーリズム振興策として、愛宕山周辺の観光農業や交流事業を推進していきたいと考えています。当地域に点在する果樹園等もその一つですが、体験農業や果樹の摘み取りなど、多くの人が訪れ、楽しめるような受け入れ態勢をつくっていきます。

● 集落営農について

Q 営農組合を立ち上げた地区や組合に対して、市の助成はありますか？

A ブロックローテーションなどの土地利用集積を行い、麦・大豆・そば・飼料作物などを作付けした認定農業者や生産組合に、運営費として10アール当たり2,000円を助成します。

● 平成20年度の補助金について

Q 平成19年度の各団体への補助金は前年度比10パーセント減で実施

されていますが、20年度は削減前に戻るのですか？

A 平成20年度以降は、笠間市補助金等検討委員会の提言を尊重し、市の財政状況を勘案して判断していきます。

● 「ふるさと友部まつり」について

Q 「ふるさと友部まつり」は、平成20年度も実施されるのでしょうか？

A 「ふるさと友部まつり」は行政・商工会・農協が連携して実施してきましたが、今年から商工会を中心とした実行委員会を組織します。平成20年度は、今年の内容や課題等を踏まえ、実行委員会が判断しますが、市としても開催に向けて支援していきます。

● 石材産業の振興について

Q 石材産業の振興のため、公共事業に地元石材を活用してほしい。

A 市では、「いばらきストーンフェスティバル」や「いなだストーンエキシビジョン」を支援していますが、今年から「羽黒、稲田石材スラッジ処理協同組合」に対する支援も行います。また、公共事業における積極的な活用も検討していきます。

● 行政とボランティアの関係について

Q 市には、ボランティアは行政の下請けだという意識があるように思います。また、市職員もボランティアに積極的に参加してほしいと思います。

A 新市の考え方の一つに市民との連携・協働がありますが、その中

核となるのはボランティアやNPOの皆さんであって、ボランティア団体が下請けであるという意識は一切ありません。また、市職員に積極的にボランティアに参加するよう市長名で通達を出していますが、実際に参加している職員もいますので、ご理解をいただきたいと思います。

● 食の安全について

Q 直売所に野菜を出荷している農家の中で、農薬の安全使用基準を認識している農家は少ないと聞いています。もし、直売所の野菜から使われてはいけない農薬が検出されたとしたら、風評被害も含めて、笠間市全体に与える影響は非常に大きいと思います。

A 食の安全性が叫ばれる中、緊急に対応していきたいと思えます。

広報かさま10月号には、健康福祉部門を掲載します。

【今後の開催予定】

テーマ／開催予定日	会場
生活環境／9月28日(金)	市役所本所 大会議室
教育・文化／10月26日(金)	市役所笠間支所 会議室
自治・協働 11月22日(木)	市役所本所 大会議室

※時間 午後7時～9時

問合せ 秘書課(内線224)



岩間支所で行われた市政懇談会